

## 2012 年度日本気象学会東北支部第 1 回理事会 議事録

日時：2012 年 6 月 22 日（金） 16 時 00 分～17 時 20 分

場所：仙台管区気象台第 3 会議室（3 階）

出席：川津、青木、足立、岩崎、境田、長谷川、川原田、児玉、高尾、和田（代理出席）（以上理事）、  
阿部（会計監査）、山崎、折笠、金濱（以上幹事）（敬称略）

欠席：杉山（代理出席：和田）、丹治（以上理事）（敬称略）

司会：足立

### 議題 1. 日本気象学会東北支部第 28 期役員選挙の結果

議案の通り、役員の当選を確認した。

### 議題 2. 新支部長及び新常任理事の互選

議案の事務局（案）を承認し、新支部長に川津仙台管区気象台長を選出した。

### 議題 3. 事業等の担当理事の選任

議案の事務局（案）を承認した。支部独自活動担当の理事には、交代で中心的に企画を担当して頂く趣旨から杉山常任理事を選出した。杉山理事へは承諾の確認を後ほど取ることにした。

（→理事会後の懇親会の場にて改めて確認を取り、ご了承頂いた。）

そのほかは議案の事務局（案）を承認した。

### 議題 4. 2011 年度会計監査報告

議案を承認した。

### 議題 5. 2012 年度事業計画及び予算

#### （1）事業計画

##### 1) 支部気象講演会

2012 年度支部気象講演会について、開催担当である山形地方気象台の川原田理事より説明。11 月末から 12 月初め 150 名規模の山形市内会場、テーマは雪関連で開催する予定。会場予約や講師選定などは未だ。3ヶ月前くらいには企画が固まっている必要があることから、7月中には概要を決定する。

そのほか次のような意見等が出された。

- ・ 樹氷を話題にするのであれば、山形大学の柳澤教授に講演依頼したい。
- ・ 講演会の対象をある程度は絞って広報したほうが良いのでは。反応をしっかりと得る点と参加人数を確保する点からも。

（防災の観点では自治体への動員、科学の普及啓発では高校の先生や高校生への働きかけなど）

- ・ 6/25 の週に、雪氷防災研究センター新庄支所で雪に関する県の会議があるので、この話題を出して協力を求める予定。

## 2) 東北支部気象研究会

今年度も仙台管区気象台の調査研究発表会の2日目午後に開催予定。議案の通り。

## 3) 東北支部だより

昨年度の発行は震災影響で大幅に遅れた。今年度の発行は2ヶ月程度の遅れ。

児玉理事より、「10月以降の記事として、研究プロジェクト紹介等を気象台中心でお願いできないか」と提案あり。後で気象台の方から返答する。

印刷予算として現状は、全6ページのうちに挟む2頁は白黒という制限あり。もし余裕あれば全頁フルカラーとしたいところ。(→ 2012年度予算の議題の通り、今年も例年通りの計上)

## 4) 支部理事会

議案の通り。(修正：第2回は2013年3月予定)

## 5) 支部独自活動

サイエンスカフェを秋頃に仙台市で開催する予定。大学、予報士会、気象協会、気象台より委員を選出してWGを立ち上げて打合せ等を行い、テーマ・日時・会場などを詰めていく予定。

青木理事と岩崎理事から今までの開催状況を説明。昨年は仙台市天文台で初めて実施した。会場代は無料、交通アクセスが不便、テーマは地球温暖化関連だった。これまで過去2回開催して、30~40名程度の参加者の中では、関心の高い熱心な人が多くそれなりに議論深まって評判は比較的好かった。

川津理事から札幌での活動情報を紹介。青少年科学館と30年近くタイアップ、夏場に開催。

気象サイエンスカフェ東北は今年で3回目、未だ始まったばかりの企画。対象者・テーマに因って相応しい開催形態を持ち合わせるという意味で、新たな模索をしながら何種類か方針・方式を試行的に今後開催していくのがよいであろう、ということを共有した。例えば、気象予報士会の東京方面では長年の経験とノウハウがあるので、それを基にして新たに発展性を広げる。また、一般へのアピール度を高くしたいテーマであれば、司会役などでマスコミとタイアップすることで効果を上げるなど。

## 6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

昨年度は奨励賞の推薦なし。議案の通り。

## 7) 日本気象学会 2013年度秋季大会について

岩崎理事より方針の説明。今年度スケジュールでポイントとなる事項は、平成25年2月頃の大会告示原稿の送付になる。会場が前回と同じとなったため5年前の計画と比べてより初動が遅くなっているが、寄付金集めに対しては同様に早めに動く必要あり。また、大学を中心にシンポジウムのテーマも決めていく。今年度は、準備委員会を秋頃に立ち上げて2月までに2回ほど打合せを行う。

会場はまだ仮予約だが、事務局のほうで在仙理事にご確認頂いた後、本予約の手続きに入る。前回開催の反省を受けて会場の配置内訳をおさえる。気象台の担当（事務局）は足立・折笠・金濱の3名、大学も担当を準備委員会立ち上げ前に決めて頂き、各自の分担や工程について事務局案をベースに準備委員会で協議する。

## （2）2012年度予算

議案の通り。2011年度と大きく異なる事項について補足説明。

- ・気象サイエンスカフェ東北は、本部へ要求通りに認められた。
- ・2013年度秋季大会は、準備委員会の事務費として計上。
- ・支部だよりについては資料に記載の通り。
- ・支出が多くなった分、予備費は約3.8万円減。

支部独自活動会計（サイフェンスカフェ）について補足説明。

- ・項目別経費が一番大きかったのは資料（特にポスター）印刷費であり、今年は見積資料を検討した上で抑えるようにする。

## 議題6. その他

### （1）全国理事会報告

長谷川理事より6/18に開催された36期37期合同理事会、理事予定者会議の説明があった。

・新野理事長の挨拶より、昨年度の報告があった。東日本大震災直後に理事長メッセージを出して多少の混乱を起こしてしまったが、学会の役割を検討したうえメッセージ・提言を改めて提示した。学会の公益社団法人化の準備も進めてきた。

・各委員会（計24）の活動報告および活動計画が各担当から説明された。

・公益社団法人への移行に伴って、全国理事の総数を減らす（27→20名）方針で調整が進められている。法律に基づき同じ組織からの理事数は総数の1/3以下にする必要がある。文部科学省への申請届出は7/31×切。

岩崎理事からの補足コメント：

全国理事会の代わりに各地方からの参加形態として支部代表者会議を新たに設ける方向。地方選出理事が無くなり全て全国選出の理事になる。

### （2）支部幹事の指名（支部細則第13条による）

議案の通り指名、承認された。

### （3）事務局から

議案の通り。